

# 「こうかん・くうこう」だより kouzushima 神津島

発行：平成21年3月

## 神津島空港滑走路等高上工事完了する！

神津島空港では、平成20年10月下旬に仮設アスファルトフラントの設置を始めて、11月下旬から高上工事等を行いました。工事は、飛行機の最終便離陸後から夜間に滑走路を閉鎖して行い、翌朝には開放する形で進められ、平成21年2月下旬に完了いたしました。



### 滑走路高上工事の主な流れ

① 路面切削機で既設舗装を削ります。



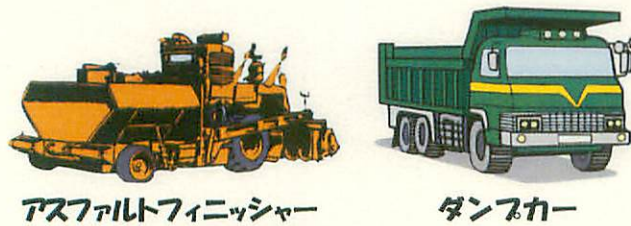
② ロードスイーパーで切削後の滑走路面を清掃します。



③ 仮設アスファルトフラントからアスファルトをダンプカーに積んで出荷します。



④ ティストリビュータで乳剤を散布します。(乳剤は、既設舗装と新設舗装のなじみを良くする役割をします。)



⑦ タイヤローラーで仕上げの締め固めを行います。(2次転圧)



⑥ マカダムローラーでアスファルトを締め固めます。(初転圧)



⑤ アスファルトフィニッシャーでアスファルトを敷き均します。

## 神津島空港の気象について

航空気象業務は、航空機が目的空港に安全に飛行できるかどうかの気象情報を提供することが目的です。

提供する気象情報(観測、予報)は、飛行計画や実際の飛行に使用されることから、飛行に影響する気象現象のみ対象となります。

神津島空港では、気象庁から気象業務を受託しており、神津島航空気象観測所の観測従事者として、空港職員が気象観測を行っています。

東京航空地方気象台では、その観測データを基に気象情報を作成し、全国の航空事業者に提供します。

風向、風速、気圧、気温は気象観測機器で計測しますが、視程、雲量、雲高は目視で観測します。

※ 有視界飛行方式による気象条件は、気象観測機器の計測値が規定内で視程5km以上雲高300m以上が飛行できる条件になります。

(神津島空港の視程の取り方)

1. 神津島空港の卓越視程図 ◎恩馳島まで 5, 250m ◎神戸山まで 5, 500m

2. 視程の取り方(恩馳島を参考にする場合)

①島の形が明瞭な場合	10 km ~ 30 km
②島の形が分かる程度	5 km ~ 10 km
③島の形は分からないがぼんやり見える程度	3 km ~ 4.5km

(雲の高さについて)

雲高測定器利用とともに、天上山、高処山、秩父山の標高を参考に観測します。

(雲の量について)

空を八等分した数量であらわします。

1. 雲量 0	SKC(スカイクリアー)	2. 雲量 1~2	FEW(フュー)
3. 雲量 3~4	SCT(スカッター)	4. 雲量 5~7	BKN(ブローケン)
5. 雲量 8	OVC(オーバーキャスト)		



港湾・空港へのご意見・ご要望、ご質問は下記まで

◆大島支庁神津島港湾空港管理事務所 電話：04992-8-1311 FAX：8-1313  
 ◆大島支庁神津島出張所港湾空港工事担当 電話：04992-8-0311 FAX：8-0313